

「劇場とは何か?」という根源的な問いに、舞台の内側から挑む。
舞台芸術の“創造と表現のプロセス”に光を当て、劇場の未来を描き出す。

Theatre
Workshop

幕が上がる、 その前に

— 創造の舞台裏から劇場を探る —

Vol.1 開催決定！
劇団☆新感線をはじめとする
演劇プロデューサー
株式会社ヴィレッチ 代表取締役社長 柴原 智子

戸部 和久(演出・脚本家)

ゲスト 柴原 智子

中井 美穂(フリーアナウンサー)



本セミナーでは、劇団☆新感線が切り拓いてきた“劇場という空間の可能性”をどのように拡張してきたのか、その意味をひも解きながら、劇場の未来を考えます。

舞台と観客をどうつなぐのか、そして空間・建築・都市と劇場の新しい関係性とは何か——。

創造の現場から発信される視点は、劇場関係者や舞台制作者はもちろん、演劇ファン、さらに劇場建築や都市開発に携わる方々にとっても、新たなヒントとなるはずです。

創り手と観客、二つの視点から劇場の未来を探るナビゲーター戸部和久と中井美穂の二人と共に、「劇場の未来」を描く90分にぜひご参加ください。

日時 2025. **11.13** 木
19:00開始 18:30開場
(休憩なし約90分)

料金 **3,500円** ※未就学児入場不可

申込

Event Hub



HP



お問合せ

seminar@theatre-workshop.co.jp

場所 **P.O.南青山ホール**

東京都港区南青山2-5-17
ポーラ青山ビルディング 地下1階
青山一丁目駅 から 徒歩2分
(東京メトロ銀座線・半蔵門線/都営大江戸線)



トークショー・ゲスト プロフィール



柴原智子 Tomoko Shibahara

劇団☆新感線プロデューサー・株式会社ヴィレッチ代表取締役社長

1968年生まれ、大阪府出身。成安女子短期大学在学中に、舞台衣裳の第一人者である緒方規矩子先生の衣裳展『緒方規矩子が創る玉三郎幻装』を見て舞台衣裳に興味を持ち、1988年より劇団☆新感線に衣裳スタッフとして関わる。

その後、主宰のいのうえひでのりが書き下ろした関西テレビの深夜枠のコント番組『てれびモドキ』の制作に関わり、劇団☆新感線の運営会社であるヴィレッチに入社。2年ほど制作と衣裳スタッフの二足の草鞋を履いた後に制作スタッフに専念。

以後、制作として新感線と共に身も心も成長して現在に至る。今年で新感線歴37年。

トークショー・ホスト プロフィール



戸部 和久 Kazuhisa Tobe

演出・脚本家

1984年東京都生まれ。日本大学芸術学部演劇学科卒業後、松竹株式会社に入社。

歌舞伎を中心に脚本・演出・作詞を手がけ、古典と現代を融合した新作で注目を集める。代表作に『東海道中膝栗毛』シリーズ、『風の谷のナウシカ』（第48回大谷竹次郎賞受賞）、『幻想神空海』など。ラスベガス公演『鯉つかみ』やスケート歌舞伎『氷艶『破沙羅』』、史上初のオンライン歌舞伎『凶夢歌舞伎 忠臣蔵』を企画。活動は歌舞伎にとどまらず、OSK日本歌劇団レビューやミュージカル『ツクヨミ～the moon～』『へば侍』など幅広い分野に及ぶ。

2025年にはクラブカルチャーと伝統芸能を融合した『ZIPANGU the Party!!』を演出。最新作は京都・南座で開幕した新作歌舞伎『流白浪燦星（ルパン三世）』で、片岡愛之助主演の話題作として注目を集めている。



中井美穂 Miho Nakai

フリーアナウンサー

1987年日本大学芸術学部を卒業後、フジテレビに入社。アナウンサーとして「プロ野球ニュース」「平成教育委員会」など多くの番組に出演し人気をアツめる。95年フジテレビ退社。97年から22年まで「世界陸上」（TBS）のメインキャスターを務めた。

現在は「タカラヅカ・カフェブレイク」（TOKYO MXテレビ）、「スジナシ」（TBS）、「華麗なる宝塚歌劇の世界」（時代劇専門チャンネル）、「アルバレスの空」（BSテレ東・ナレーション）等にレギュラー出演。その他、動画配信番組、イベントの司会、クラシックコンサートのナビゲーター、朗読など幅広く活躍している。

がん患者支援団体 NPO 法人がんサネットジャパンの活動に賛同し、2018年理事に就任。がん啓発のイベントや市民公開講座の司会などの活動もしている。

幕が上がる、
その前に について

Theatre
Workshop

「劇場とは何か」。その問いに、舞台の内側から挑む――

シアターワークショップが贈る『劇場セミナー 幕が上がる、その前に』は、演出・脚本家の戸部和久と、舞台芸術を深く愛するアナウンサー中井美穂をホストに毎回ゲストを迎え、さまざまな視点から劇場の未来を探るトークシリーズです。

これまで建築や空間設計といったハード面に焦点を当ててきた劇場セミナー。本シリーズでは、舞台芸術の「創造」と「表現」のプロセスに光を当て劇場という“場”の価値を再定義します。

脚本が立ち上がる瞬間、役者が魂を込める瞬間、観客の心が揺さぶられる瞬間――その裏側にある想いや仕掛けを紐解きながら、空間・建築・都市と劇場の新しい関係性を考える90分。

舞台芸術を愛する人々から、劇場を創る人、都市をデザインする人まで未来の劇場を共に考える仲間を迎えます。